



# 議会だより

令和3年  
8/1  
第168号



太宰府天満宮手水舎は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い「暗くなった気分を晴れやかに」と境内などに咲くアジサイの花を浮かべて「花手水」を演出。

## 9月定例会の日程(予定) 会議の開始時刻は午前10時からです。

日	月	火	水	木	金	土
8/22	23	24	25	26	27	28
			本会議 市長提案理由説明		本会議 質疑・委員会付託	
29	30	31	9/1	2	3	4
	総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会		建設経済 常任委員会		
5	6	7	8	9	10	11
		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)		
12	13	14	15	16	17	18
	決算特別 委員会	決算特別 委員会	決算特別 委員会 (予備日)		本会議 委員長報告・質疑 討論・採決	

## 議会の傍聴について

議会傍聴の際の感染症対策を実施しています。マスクを必ず着用してください。

本会議場の傍聴人数は通常は51名ですが、状況により傍聴人数の設定を変更(減)することがあります。詳しくは議会事務局までご確認ください。

新型コロナウイルス対策報告 …… 36P  
 6月定例会リポート …… 37P  
 個人質問 …… 39P  
 政務活動費収支報告 …… 45P  
 全国市議会議長会表彰 …… 46P  
 議員人権・同和問題研修報告 …… 46P

# 6月 定例会レポート

○令和3年第2回定例会(令和3年5月28日～6月16日)20日間

## ○人事

### ◆荒木関也氏を筑紫公平委員会委員に選任することに同意しました。

⇒筑紫公平委員会委員 坂井俊明氏が令和3年7月24日付けで任期満了となることに伴い、荒木関也氏を委員に選任することに同意しました。《議案第37号》

## ○専決処分

専決処分は、議会の開会を待てない緊急時などに、例外的に市長が議会に代わって決定することです。専決処分をしたことは、次の議会で報告又は承認を得なければなりません。

### ◆市税条例を改正します。

⇒令和3年度に限り、固定資産税額が増加する土地について、前年度の税額に据え置く特別措置と、軽自動車税における環境性能割の軽減や住宅ローン控除の特別措置の延長など、地方税法の改正に伴う市税条例の改正です。《議案第39号》

### ◆都市計画税条例を改正します。

⇒地方税法の改正に伴い、固定資産税関係の特例措置等に連動する関係規定を改正します。《議案第40号》

## ○条例の改正

セルフメディケーション税制は、健康診断などを受けている人が、一部の市販薬を購入した際に所得控除をうけられる制度です。

### ◆市税条例を改正します。

⇒セルフメディケーション税制の延長及び個人住民税の非課税限度額等における関係規定の改正を行うものです。《議案第41号》

### ◆手数料条例を改正します。

⇒コンビニエンスストアに設置されている民間端末機により、住民票等の各種証明書を申請・取得する際には、手数料の免除規定を適用しないこととするためです。《議案第42号》

### ◆印鑑条例を改正します。

⇒コンビニエンスストアに設置されている民間端末機により、印鑑登録証明書の申請・取得を可能にするためです。《議案第43号》



### ◆国民健康保険条例を改正します。

⇒新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴い、これまで同法を引用していた条例の規定を改正する必要が生じたためです。《議案第44号》

## ○意見書

### ◆学校給食費の無償化を求める意見書を国に提出します。

⇒全ての市町村が学校給食費の無償化を実施できるよう、国に要望します。《意見書第1号》

## 新型コロナウイルス対策報告

令和2年(2020)初頭から続く新型コロナウイルス感染症の広がりの中、太宰府市議会の取ってきた対応を報告します。

太宰府市議会は令和2年(2020)4月に非常時でも円滑に議会活動を行うために業務継続計画(BCP)を定めましたが、その施行日から非常時体制をとることになり、現在まで続いています。新型コロナウイルス対策議会連絡協議会で執行部との協議を継続しています。また定例会の他、令和2年(2020)は毎月のように臨時会を開催してきました。

議会運営については、一般質問の方法、三密回避のための傍聴席の制限など、議会災害対策会議において状況に応じた検討を続けてきました。

市民との意見交換会は、令和2年度は議会全体での開催を断念し、常任委員会ごとに開催しました。

	全国と福岡県	太宰府市議会
令和2年(2020)	1月14日 WHO 新型コロナウイルスを確認 1月30日 WHO 国際的な緊急事態を宣言 1月31日 太宰府市、新型コロナウイルス感染症対策本部会議設置 2月13日 国内で初の感染者死亡 2月27日 安倍首相、全国の学校休校要請意思を表明 3月 9日 三密回避の提言 3月24日 オリンピック、パラリンピック延期 4月7日 福岡県に緊急事態措置(～5/14) 8月 5日 福岡コロナ警報(～10/8) 10月 1日 GoToトラベル キャンペーン開始 12月12日 福岡コロナ警報(～2021/1/13)	2月26日 3月定例会(～3/19) 代表質問:文書回答 個人質問:中止 4月 1日 災害対策会議要綱施行。同会議設置 4月27日 4月臨時会 5月 7日 5月臨時会 5月29日 6月定例会(～6/18) 議会費、約450万円を削減 個人質問:文書回答 コロナ関連の質問は新型コロナウイルス対策議会連絡協議会で行うこととする。 また、各常任委員会での意見交換内容を執行部に提案 7月14日 7月臨時会 8月27日 9月定例会(～9/18)(傍聴10人までに制限) 個人質問:簡潔、短時間を旨とし、議場で実施 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書採択 10月13日 10月臨時会 11月27日 11月臨時会 12月 2日 12月定例会(～12月18日) 個人質問:通常どおり実施
令和3年(2021)	1月14日 福岡県 緊急事態措置(～2/28) 5月12日 福岡県 緊急事態措置(～6/20) 6月21日 福岡県 まん延防止等重点措置	2月 9日 2月臨時会 2月25日 3月定例会(～3/19)(傍聴25人までに制限) 代表質問:最大80分まで 個人質問:通常どおり実施 5月28日 6月定例会(～6/16)(傍聴10人までに制限) 個人質問:通常どおり実施





**Q** コロナウイルス 感染拡大防止のために休校等の措置が取られたことによる小中学校の教育環境の変化に関して、3点伺う。

① 不登校児童・生徒への対応について。

② 児童・生徒に対する心のケアについて。

③ 児童・生徒に一人一台配布されたタブレットパソコンの利用方針について。



**問** こころのケアで児童・生徒を守れ

はせがわ こうせい  
長谷川 公成 議員



**A** 理事 ①令和2年度の不登校児童・生徒数は、前年度の割合が大きくなっており、中学生は例年の増加傾向と大差はありません。本年度、第2つばさ学級を新設し、小学校2校に校内適応指導教室を設置します。また、児童・生徒の支援にあたる人材を増員して対応します。

また、児童・生徒に悩み相談窓口を紹介しています。

③ 次の4つの取り組みを推進します。

(1) 授業における活用、

(2) 家庭における活用、

(3) 特別な支援を必要とする児童生徒の支援

(4) 不登校児童・生徒の支援

\*「つばさ学級」では児童生徒に対し自立や学校復帰を目指す支援や指導を行う。

② 中止や縮小を余儀なくされた学校活動の代替活動を計画し、制限がある中でも楽しい思い出や達成感が得られるように努めています。

**全質問項目**

◇コロナウイルスによる小中学校の環境の変化について

**Q** 来々、市制施行40周年という節目を迎えるに当たり3点伺う。

① 40年間の太宰府市政を振り返って、これまでの市政運営の検証について。

② 近隣3市より市政施行が10年遅れたが、この10年がまちづくりの充実度やサービスの水準で格差となっていないか。

③ 第5次総合計画が終了した状態で、太宰府市はどのようなまちを目指し、何を頼りにまちづくりを進めるのか。



**問** 過去40年の検証と市制施行50周年への展望は

きむら あきと  
木村 彰人 議員



整備を行うことができましたが、少子高齢化に加え、新型コロナウイルスで地域経済が大きな打撃を受けており、知恵と手段を結集して厳しい社会経済情勢を打破することが課題であると考えています。

② それぞれの市で都市環境や地理的条件が違い比較は難しいのですが、現在のところ太宰府らしい独自の歩みが出てきていると考えます。

③ 新型コロナウイルスのワクチン接種に全力で取り組み、市民の平穏な日常を取り戻すことが最優先で、そのうえで総合戦略に掲げた4

**A** 部長 ①市制40年で公共施設や上下水道等の都市基盤

**全質問項目**

◇市制施行40周年を迎える本市の、これまでの歩みと、これからの展望について



○令和3年度一般会計補正予算(専決第1号)(補正第3号)(補正第4号)

◆予算総額は歳入・歳出それぞれに5億1,193万円を追加し、267億217万円になりました。

費目	補正予算額	主な事業と予算額
児童福祉費	1億4,715万円	子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分) 6,000万円 子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分) 7,500万円
社会福祉費	4,272万円	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 3,672万円 障がい者施設等従事者特別支援金 600万円
保健衛生費	2億6,570万円	新型コロナウイルスワクチン接種事業関係費① 2億818万円 新型コロナウイルスワクチン接種事業関係費② 4,580万円 PCR検査等助成金 400万円
商工費	1,000万円	事業再構築支援補助金 1,000万円 テイクアウト販売等の業態転換に取り組む事業者を支援します。
消防費	313万円	災害対策関係費 313万円 多様な避難ケースに対応するため、ワンタッチテントを配備します。
教育総務費	2,979万円	ICT支援事業委託料 2,957万円 小中学校への各一人のICT支援員の配置等の費用です。

6月定例会 全会一致で議決した議案

案件	議案番号等	案件名	議決結果
1	報告第1号	令和2年度太宰府市一般会計予算繰越明許費について	—
2	報告第2号	令和2年度太宰府市一般会計予算繰越しについて	—
3	報告第3号	令和2年度太宰府市下水道事業会計予算繰越について	—
4	報告第4号	令和2年度太宰府市・みらい基金の運用状況報告について	—
5	報告第5号	専決処分の報告について(下水道施設による事故の損害賠償の額の決定)	—
6	議案第37号	筑紫公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
7	議案第38号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度太宰府市一般会計補正予算(専決第1号))	承認
8	議案第39号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市税条例等の一部を改正する条例)	承認
9	議案第40号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
10	議案第41号	太宰府市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
11	議案第42号	太宰府市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
12	議案第43号	太宰府市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決
13	議案第44号	太宰府市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
14	議案第45号	令和3年度太宰府市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
15	報告第6号	専決処分の報告について(市が管理する歩道内の側溝蓋の破損による事故の損害賠償の額の決定)	—
16	議案第46号	令和3年度太宰府市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決
17	意見書第1号	学校給食費の無償化を求める意見書	原案可決

どうなっとうと?個人質問

6月定例会リポート



**問** 中学校完全給食を断念してランチサービスの充実に向かうのか  
原田 久美子 議員



**Q** 健康教育の観点から、中学校も小学校と同様に完全給食が必要であると考え、2点伺う。

**A** 理事 ①中学生の心と体の成長にはバランスの取れた栄養摂取が欠かせないことから、安心・安全で多様な食品をバランスよく摂取させることを目的としたランチサービスを実施しています。まずその喫食率の倍増を目標に給食環境を向上させたいと考えています。

② 完全給食と選択制のランチサービスにはそれぞれに特徴があり、各方面から様々な意見をいただいています。コロナ禍で大変厳しい財政状況であることや、多大な財源を必要とする学校施設の改築、改修が控えていることなどから、慎重に検討を続ける必要があると考えています。



中学校のランチサービス

①ゼロベースであればゆる角度から実施方式や財源の検討を行い、任期中に一定の方向性を打ち出す旨述べられたが、中学校給食実現の方向性について。  
②中学校ランチサービス拡大事業として1370万8千円の予算が計上されたが、これはあくまで完全給食実施までの当面の予算と理解している。現在の希望者だけのランチサービスが妥当なのか、それとも完全給食の方向に向かうのか。

② 完全給食と選択制のランチサービスにはそれぞれに特徴があり、各方面から様々な意見をいただいています。コロナ禍で大変厳しい財政状況であることや、多大な財源を必要とする学校施設の改築、改修が控えていることなどから、慎重に検討を続ける必要があると考えています。

**全質問項目**

◇中学校の完全給食について



**問** 避難所は去年よりアップデートされるのか  
小島 真由美 議員



**Q** 自然災害等発生時、避難所の運営に当たり、今年も新型コロナウイルス感染症対策との両立が求められる。以下4点伺う。  
①ペットと一緒に避難できる体制。  
②配慮を要する避難者の支援に資するヘルプマークや災害用ベストの活用。  
③感染者や濃厚接触者の専用避難スペースの設置。  
④ワクチン接種会場と避難所の重複への対応。

**A** 理事 ①中学生の心と体の成長にはバランスの取れた栄養摂取が欠かせないことから、安心・安全で多様な食品をバランスよく摂取させることを目的としたランチサービスを実施しています。まずその喫食率の倍増を目標に給食環境を向上させたいと考えています。

② 完全給食と選択制のランチサービスにはそれぞれに特徴があり、各方面から様々な意見をいただいています。コロナ禍で大変厳しい財政状況であることや、多大な財源を必要とする学校施設の改築、改修が控えていることなどから、慎重に検討を続ける必要があると考えています。

③ 保健所から災害発生時の留意事項の案内がなされています。市ではプラム・カルコア内に専用スペースを設けるよう検討を進めています。  
④ いきいき情報センターについては太宰府中学校体育館を代替避難所とし、とびうめアリーナについてはワクチン



接種会場とはフロアを分け、避難所も開設します。

**全質問項目**

◇災害時における避難所管理運営と公共施設の整備について



**問** 今こそ部活動指導の革新を  
徳永 洋介 議員



**Q** 3月議会では中学校部活動外部指導員の資質向上のための仕組みづくりと生徒の健全育成に資する指導員研修を実施すると回答された。外部指導員数は令和元年度11名から令和2年度21名と倍増したが予算は263万円から314万円に増えたのみである。学校の働き方改革のため3点伺う。  
①外部指導員予算額と指導員数について。  
②外部指導員の活動期間について。  
③部活動に関する市の方向性について。

**A** 理事 ①部活動外部指導員派遣事業予算は本年度314万1千円、外部指導員は23名です。  
②例年、5月頃から3月までです。  
③生徒の技術向上、顧問の負担軽減、部運営の円滑化、生徒指導の充実が実現していることから今後も継続、充実を図っていきます。さらに、文部科学省も部活動改革として地域人材の積極活用を推進しており、人材の確保と費用負担の在り方の研究を行ってまいります。



**全質問項目**

◇中学校部活動について  
◇新型コロナウイルスワクチン接種について



**問** 中学校給食の親子式実現に期待  
神武 綾 議員



**Q** 中学校完全給食について市長は任期中に一定の方向性を示すと繰り返し示しているが、市民からの実施を求める声が強くなる。2点伺う。  
①今年度、水城小学校の改築が着手される。計画では給食室も対象となっており、親子式の給食室の設置を前向きに進めるべきと考えるが見解は。  
②市長、教育長宛てに3348筆の署名が届けられた。義務教育である中学校において早急に完全給食を実施することは重要な施策であるが、現時点での実施に向けた見解は。

**A** 理事 ①水城小学校の改築事業については、学校運営協議会や教職員の意見をいただきながら進めさせていただきますので、ご提言いただいた親子式給食室も含め検討していきます。  
②現在、市はコロナ禍による税収の激減で大変厳しい財政事情であり、また、給食事業者も厳しい経営環境下にあることも踏まえて、まずは、実施しているランチサービスの一層の充実を図ることによる喫食率の倍増を目標に利用者拡大を図り、生徒の給食環境を向上させたいと考えています。



**全質問項目**

◇中学校完全給食実施について  
◇いきいき情報センターについて



**問** 太宰府版ニューディールの効果はいかに  
ふなこし たかゆき  
船越 隆之 議員



**Q** 施政方針行財政改革に関して、3点伺う。  
① プラム・カルコア太宰府敷地内にある防火水槽の移設工事を、この時期に実施しなければならぬ理由について。  
② 市内の生活環境の改善と経済活性化対策（太宰府版ニューディール）として、側溝蓋掛け工事等をこの時期に実施しなければならぬ理由について。  
③ 下水道のデザインマンホール蓋を設置することで、観光客の誘客ができるのか。

**A** 部長 ① 令和2年8月の消防署による点検で漏水の疑

いの報告がなされ、その後の調査で漏水が判明したため、早期の改修が必要であると判断しました。  
② 新型コロナウイルスの影響で大変厳しい状況の中、地場産業の育成と経済活性化とともに生活環境の改善を図ることを目的に、側溝の蓋かけ工事等の来年度計画を前倒しで実施することにしました。  
③ アフターコロナも見据えて、太宰府らしいデザインマンホールを一部の地域に設置することで、市民や観光客の皆様以太宰府の魅力を伝えるとともに、暮らしを支える下水道の大

**全質問項目**  
◆ 施政方針行財政改革戦略について

太宰府版ニューディール!?



切さについて理解を深めていただくものです。

**問** アンビシャス広場のさらなる充実を望む  
はしもと けん  
橋本 健 議員



**Q** 学校教育とともに、子ども成長に必要な欠くべからざる社会教育に関して、3点伺う。

① 社会教育団体の現状について。  
② 各団体の抱える問題点とその対策及び連携した活動による活性化について。  
③ アンビシャス広場づくりの推進に対する市の見解について。  
**A** 部長 ① 現在本市には青少年を対象とした社会教育団体として7団体が活動しています。  
② 問題点としては、人材の担い手不足と高齢化です。市の対策として

は、新しい人材の発掘及び育成のために、交流と情報交換の場としての研修会や機会づくりに取り組んでいます。各団体の連携した活動で、お互いに協力し合うとともに、各団体への参加を通して青少年リーダーに成長するなど、各団体間の連携がさらに強固なものとなっております。  
③ アンビシャス広場は、子どもたちの心身の成長に大きく貢献しているものと考えます。現在活動中の4つの広場のさらなる充実を図るとともに、新たな広場づくりにも取り組んでいきます。

**全質問項目**  
◆ 社会教育の積極的な推進について



アンビシャス折り紙ヒコーキ大会



**問** 市の上踏切周辺の今後  
ふじい たかゆき  
藤井 雅之 議員



**Q** 市の上踏切は、踏切道路改良促進法に基づく改良実施すべき踏切道路に指定され、社会資本整備総合交付金を財源に踏切改良工事を進められ、令和3年4月3日拡幅竣工記念式典が行われた。

そこで、2点伺う。  
① 太宰府側に踏切横断した時、道が狭く離合が難しい。道路の拡幅や一方通行にするなど改善が必要と考えるが、見解は。  
② 竣工直後にもかかわらず降雨時に水たまりができています。早急に改善が必要と考えるが、見解は。

**A** 部長 ① 踏切周辺道路の改良も併せて行うことで、車両の通行をスムーズにすることをこれまで行ってきました。当該箇所についても、道路の拡幅以外にも安全で円滑な通行を確保するため、一方通行などの交通規制を行うことも、有効な措置の一つと考えています。交通実態や朝夕の混雑状況等を確認し、地元自治会及び筑紫野警察署と協議しながら、より安全な交通体系を検討していきます。

② 現在JR九州で仮補修を行っています。引き

続き当該箇所の本格的な補修工事を実施する予定です。



市の上踏切歩道部にできた水たまり(旧シルバー人材センター前)

**全質問項目**  
◆ 市の上踏切周辺の今後について  
◆ 避難所のあり方について



**問** ワクチン接種の諸課題を問う  
かどた なおき  
門田 直樹 議員



**Q** 新型コロナウイルスワクチン接種事業に関して、3点伺う。

① 医療従事者等への接種の進捗状況、年代別に予定する接種対象者の範囲と概数、本市の接種の優先順位は。  
② 全体の実施期間の見込みと対象範囲ごとの予定期間、接種会場でのレーン数、キャンセル分ワクチンの処分、個別接種や巡回接種を行う事の現時点での考えは。  
③ 接種予約のトラブルや苦情件数と概要、機器の操作が困難な方への対応、来庁される方への対応は。

**A** 部長 ① 医療従事者への接種は県が所管しており、5月中旬まで基本型病院、その後、各医療機関で行われ、6月20日の週に完了予定です。16歳以上の対象者は6万1千人で、国が示す優先順位に従って進めます。

② 実施期間は令和4年2月末までです。6月4週目から各会場5レーン、計10レーンで進めます。キャンセル分のワクチンは廃棄しない対応をしており、個別接種は医師会に要望しています。  
③ 5月中のコールセンターへの問い合わせは



コロナウイルスワクチン

**全質問項目**  
◆ 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

約1500件でスケジュールや予約方法が主です。また、機器の操作が困難な方には、地域でサポートをお願いします。



**問** 一人一台パソコンをフル活用せよ  
**入江 寿 議員**



**Q** 従来の教育はどれだけ多くの知識を暗記できるかで評価を行ってきたが、今後は情報活用能力や創造力の育成に重きが置かれ、先生からの一方的な授業ではなく双方向型に転換しなければならぬ。ICT教育はそのツールとなることから、5点伺う。

**A** 理事 ①個人に  
応じた教材の提供、個々の意見を瞬時に集約、整理したうえで話し合うことなどが可能となります。

一人一人に最適な学びの提供を実現します。



- ①タブレット端末の活用 法は。
- ②教員のICT教育指導 力向上の取組みは。
- ③学校と家庭をつなぐICT教育の取組みは。
- ④つばさ学級生徒へのICT教育の取組みは。
- ⑤ICT教育の将来を見据えた取組みは。

- ②教員向け研修会や公開授業の開催、ICT支援員の派遣を行います。
- ③タブレットにはオンラインソフトが備わっており、今後使い方を教え活用を進めます。
- ④つばさ学級生徒もオンラインで学校の様子を見ることができ、学校をより身近に感じることがができます。
- ⑤ICT活用スキル、情報モラル、プログラミング教育の3つのカリキュラムの実践で、一

**全質問項目**  
◇ICT教育について



**問** 目標をもたない中学校給食は実現できない  
**笠利 毅 議員**



**Q** 給食には、ランチサービスでは実現できない市としての目標があるはず。何も進んでいないという声もあるが市は何をしているのか。まず教育委員会から、ランチサービスではなく給食を実現する意義について説明をいただきたい、そのうえで中学校給食調査研究委員会で集めた資料の分析について、部署毎の分担と全体の進捗管理の担当を伺う。さらに市長の言う「ゼロベースでの検討」とは完全給食の断念も意味するのかを伺う。

**A** 部長・理事 全  
員がバランスの良い栄養を摂取するとともに、一体感や協働の精神が育成できるのが完全給食の良さとして挙げられます。食育の観点はいきいたいと思います。財政、施設整備、運営の面で分担研究を続けており、三役会議等でも協議をしています。厳しい財政状況もあり確定的な結論は出ていません。

環境を整えていくということです。



**市長** 全体については担当というより市長が責任を負っています。「ゼロベースでの検討」とは、過去は踏まえつつも、市長の責任において全てゼロから考え中学生の昼食

**全質問項目**  
◇中学校完全給食について

## 令和2年度 政務活動費 収支報告

会派または個人名	支給額(円)	支出額(円)	市返還金(円)	執行率(%)
こぎめいとう だざいふしぎだん 公明党太宰府市議団 (2人) 小島真由美、堺 剛	600,000	154,990	445,010	25.8
さい こう 幸 光 (6人) 宮原伸一、原田久美子、陶山良尚、 入江 寿、船越隆之、柳原莊一郎	1,800,000	238,328	1,561,672	13.2
だざいふしぎだん 太宰府市民ネット (2人) 徳永洋介、村山弘行	600,000	422,125	177,875	70.4
だざいふしんせいかい 太宰府新公会 (3人) 長谷川公成、橋本 健、上 疆	900,000	173,534	726,466	19.3
にほんきょうさんとう だざいふしぎだん 日本共産党太宰府市議団 (2人) 神武 綾、藤井雅之	600,000	335,342	264,658	55.9
みらい 未来のまち (2人) 笠利 毅、木村彰人	600,000	286,155	313,845	47.7
門田直樹	300,000	52,800	247,200	17.6
合 計	5,400,000	1,663,274	3,736,726	30.8

(令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)

政務活動費は議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、会派または議員に対して交付されるものです。太宰府市議会では、1人当たり月額2万5千円が交付されています。令和2年度は新型コロナウイルスのまん延により、例年のような研修への参加ができなかったため、執行率が低くなりました。今後とも、政務活動費を有効に活用し、調査・研究を市民の皆さんに還元するとともに、市政発展のために生かしていきます。

支出の領収書はホームページで公開しています。  
こちらから



# 全国市議会議長会より表彰

市議会議員として、長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、全国市議会議長会から表彰されました。



議員30年以上  
村山弘行議員



正副議長4年以上  
藤井雅之議員



議員10年以上  
陶山良尚議員 上疆議員 神武綾議員

## 市議会議員 人権・同和問題研修報告

### 令和3年度市議会議員人権・同和問題研修

日時:令和3年5月13日(木)

場所:全員協議会室(市役所5階)

研修内容:ビデオ学習「映像で学ぶ 部落差別解消推進法」  
(公営財団法人大阪人権博物館企画制作)

今回の研修は、新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言期間中であることから、DVDによる研修としました。

まず初めに、市の人権政策課からの補足説明を受けたあと、部落差別解消推進法の制定と部落差別の現在、法的意義と活用方法、条例化と私たちの役割を学びました。

本市におきましても、令和2年12月に「太宰府市部落の差別の解消推進に関する条例」が制定され、今後、部落差別の解消を進めていく必要があります。



### ◇編集後記◇

この春、平成の三四郎こと古賀稔彦さんの訃報に接した。

選手としての活躍は勿論のこと、柔道を通じ多くの青少年の育成に心血を注いできたことも良く知られている。

指導に際し古賀さんは強くなることよりも人として優しくあることを教えたそうので、勇者の志と人柄が偲ばれる。

コロナ禍の制約の日々に心のゆとりは失われがちだが、疲弊し立ち止まる人への思いやりとワクチン接種に携わる医療関係者、自治体職員やボランティアの方々のご労苦に感謝の気持ちは忘れたくない。

新たな日常下の令和五輪にあっても、未来の三四郎たちの夢と希望を育む一瞬がたくさん訪れる事を願いたい。

(そ)

### 議会広報特別委員会

委員長 原田久美子  
副委員長 木村彰人  
委員 藤井雅之  
委員 橋本健  
委員 入江雅之  
委員 笠原利一  
委員 柳原莊一郎